

源光寺文書概要

1: 文書群番号	078008
2: 文書群名	源光寺文書
3: 出所	源光寺
4: 家業・役職等	
5: 地名	摂津国武庫郡西新田／兵庫県武庫郡西新田／武庫郡大庄村西新田／尼崎市西／尼崎市西・大庄西町ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7: 歴史	<p>西新田村は、市城南西部、武庫川沿いに位置しており、集落の北に中国街道が接していた。もとは東新田と一体で、中世後期頃に西大島の南に開発されたものと考えられる。西新田村の史料上の初見は慶長10年(1605)。</p> <p>近世初期には幕府領、元和3年(1617)尼崎藩領となり、明治に至った。村高は慶長10年で569石余、元禄15年(1702)に1,231石余、天保5年(1834)に2,143石余とある。地先に開発された道意新田・又兵衛新田・中浜新田、平左衛門新田などの新田の石高が含まれている。また、天和・貞享年間(1681～1688)には家数94軒、人数668人、天明8年(1788)には150軒、684人とある(いずれも新田分を含む)。水利は大島井組に属した。氏神は素盞鳴神社(近世には牛頭天王社)。ほかに八幡宮があったが大正2～3年(1913～14)に素盞鳴神社に合祀された。寺院は浄土真宗本願寺派源光寺・同宗同派円徳寺。中国街道が武庫川を渡る西新田の渡しでは舟渡しを担当した。</p> <p>明治38年(1905)には阪神電鉄の武庫川駅が開設され、昭和27年(1952)には東新田にかけての大庄湿地帯が開発されて尼崎競争場(競艇場)が建設された。</p> <p>龍王山源光寺は西新田村にある浄土真宗本願寺派の寺院。享禄4年(1531)、僧永慶の開基と伝える。阿弥陀如来を本尊とする。</p> <p>文久年間以降に、源光寺の境内には「温雅堂」という寺子屋が設置された。ここでは漢学・詩文を教授していた。「温雅堂」は明治12年(1879)まで存続している。</p>
8: 伝来	昭和49年、釈氏泰雄氏より市史編集室が借用。同54年に史料館へ寄託された。
9: 史料入手先	釈氏泰雄氏(源光寺住職)
10: 点数	519点(目録件数349件)
11: 年代	元禄3年(1690)～明治36年(1903)
12: 構造と内容	<p>本文書群は①寺檀統制触など寺院支配、②人別送り・受取等戸籍、③法事等宗教行事、④寺院運営関係史料からなる。</p> <p>寺院運営については、本堂等施設の修復・再建、明治10年(1877)の琴浦小教校開校、近代の大教院分離問題などの関係史料が目をはく。</p> <p>また、岡山・堺・阿波・讃岐等他地域寺院とのつながりを示す史料が豊富であり、近世～明治初期にかけての源光寺の寺院としての位置づけ・実態がよくわかる文書群である。</p>
13: 関連史料	なし
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央